



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

日赤あいち

No. 159

2024. 夏

CLOSE UP

誰もが安心して夢を抱ける社会を目指して

TOPICS

令和5年度日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出決算

Information

CLOSE UP

誰もが安心して
夢を抱ける
社会を目指して
多文化共生社会の実現に向けた
愛知県支部の取り組み



Information インフォメーション

届けよう、私たちの想い。

10代夏の献血キャンペーン!

愛知県赤十字血液センターでは、「10代夏の献血キャンペーン」を実施します。県内9カ所の献血ルームまたは献血バスで献血の受付をされた10代学生の方にオリジナル記念品をプレゼントします。
※なくなり次第終了となります。



期間は令和6年7月(予定)から同年9月30日までです。

※詳細は当センターHPをご覧ください。



愛知県赤十字血液センターHPはこちら

近年、若い方々の献血へのご協力が減少傾向にあります。輸血用血液を必要とする患者さんの命を守るためには、若い方々の献血へのご協力が必要です。

ぜひ、この機会に献血へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

1day仕事体験を開催します!

令和6年8月21日(水)、22日(木)、23日(金)に、愛知県内にある赤十字施設を会場として1day仕事体験を開催します! ご参加いただくことで「赤十字職員として働くこと」について、理解を深めていただくことができる内容となっています。「日本赤十字社という名前は知っているけれど、どんな事業をしているのかわからない」という方大歓迎! 少しでもご興味がありましたらぜひご応募ください。



「採用情報」
はこちら



日本赤十字豊田看護大学 8月・9月オープンキャンパス開催!

日本赤十字豊田看護大学では令和6年8月22日(木)に中学生・高校生向けオープンキャンパスを開催します!

赤十字の看護大学の特徴を活かした災害看護学の看護体験や国際救援に関する講演会、国際交流に参加した学生の体験談発表、在学生と直接話せる個別相談コーナーやキャンパスツアーがあります。

また、高校生の保護者向けオープンキャンパスを9月28日(土)に開催します。学費や学生サポート制度などの説明とともに、本学の最新の学修教材のデモ見学を行います。参加をご希望の方は本学ホームページからお申込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております!



日赤豊田 オープンキャンパス



活動資金 ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

- ▶アサヒペーパー株式会社 様
- ▶ヒダ電気株式会社 様
- ▶アスク環境開発株式会社 様
- ▶株式会社クルーズホールディングス 様
- ▶江口光株式会社 様
- ▶株式会社大日 様
- ▶三協化成産業株式会社 様
- ▶株式会社ネクステージ 様
- ▶シンコー株式会社 様
- ▶株式会社ミニミニグループ 様

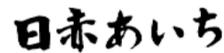
赤十字事業は、皆さまからの活動資金のご協力によって支えられています。

郵便振替口座/00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの振込取扱票でお手続きください。



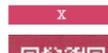
愛知県支部



〒461-8561 名古屋市東区白壁 1-50 TEL 052-971-1591 (代表)

発行元/日本赤十字社愛知県支部

発行日/令和6年7月1日



活動の詳細や最新情報はウェブサイトかSNSへ

日赤あいち

検索

https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/



PRESENT

ウルフドッグス名古屋 傅田亮太選手 サイン色紙

ウルフドッグス名古屋で活躍する傅田選手のサイン色紙を抽選でプレゼント



Mail: aichi-koho@aichi.jrc.or.jp

Fax: 052-971-1590

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50
日本赤十字社愛知県支部
「日赤あいちプレゼント」係

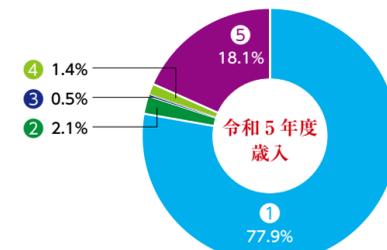
- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号
- ④年齢 ⑤「日赤あいち」の入手先
- ⑥ご意見・ご感想など

締切/令和6年9月30日必着

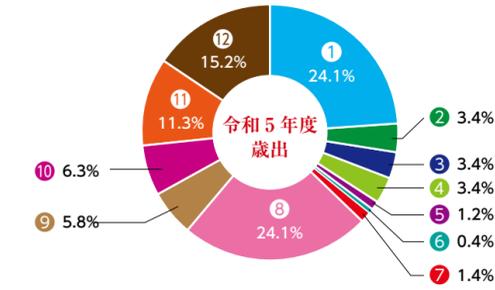
令和5年度日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出決算

令和5年度、愛知県支部では個人・法人の皆さまからいただいた会費(社費)や寄付金を主な財源として、災害救護事業をはじめとした人道支援活動を実施しました。日本赤十字社代議員会で承認されましたので報告します。

歳入		
内訳	決算額	構成比
① 社資収入	1,296,462,380 円	77.9%
② 委託金・補助金及び交付金収入	35,372,256 円	2.1%
③ 資金繰入金	8,100,567 円	0.5%
④ 資産収入・雑収入	23,598,617 円	1.4%
⑤ 前年度繰越金	301,240,738 円	18.1%
合計	1,664,774,558 円	100.0%



歳出		
内訳	決算額	構成比
① 災害救護事業と救護看護師の養成に	321,581,528 円	24.1%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	45,755,497 円	3.4%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	45,031,709 円	3.4%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	45,186,685 円	3.4%
⑤ 社会福祉事業などに	15,906,438 円	1.2%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,277,442 円	0.4%
⑦ 国際的な活動に	18,700,567 円	1.4%
⑧ 赤十字病院救急医療体制の整備に	321,961,720 円	24.1%
⑨ 広報・活動資金募集のために	78,003,560 円	5.8%
⑩ 市町村における赤十字活動に	83,581,789 円	6.3%
⑪ 全国的な赤十字活動に	150,354,271 円	11.3%
⑫ 支部の運営に	203,736,355 円	15.2%
合計	1,335,077,561 円	100.0%



*歳入歳出差引額329,696,997円は翌年度の事業実施のために繰り越されました。

PICK UP

災害救護活動

令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。多くの方が日常を奪われ避難生活を送る中、日本赤十字社愛知県支部は被災直後から職員を派遣するとともに、日本赤十字社愛知県医療センター名古屋第一病院・第二病院からは救護班を派遣し、避難所や医療支援が届きにくい集落や施設の巡回診療を継続して行っていました。また、赤十字ボランティアの協力により、毛布や安眠セット、簡易トイレなどの救援物資を配布する活動も実施しました。



青少年赤十字

青少年赤十字の実践目標の一つ「国際理解・親善」に基づき、平成19年からモンゴル赤十字社と国際交流活動を行っています。令和5年度はモンゴル青少年赤十字メンバー7名とモンゴル赤十字社職員1名が来日し、愛知県の青少年赤十字メンバーと互いの文化を紹介し合うなど交流を深めました。



子どもの第三の居場所づくり推進事業

子どもたちが安心して過ごし、様々な世代と食事をする機会や、赤十字ボランティアによる学習支援、困らん、各企業などのプログラムにより多くの体験の機会を通じて参加する子どもの興味関心を広げることが目的に、令和5年度からUR都市機構中部支社と協働で、「夏休み みんなの空き地プロジェクト」を実施しました。



多文化共生事業

日本赤十字社愛知県支部は外国にルーツを持つ方にもいのちを守る方法を広めるため、多文化共生事業の一環として「やさしい日本語」を使った講習を行っています。

令和5年度は様々な事情により、児童生徒の健康診断が実施されていない外国人学校において、医師の派遣等を通じた健康診断実施の支援事業を行いました。



※事業報告の詳細については、
日本赤十字社愛知県支部
ウェブサイトをご覧ください。
https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/about/

知多市と地域活性化包括連携協定を締結

5月24日(金)日本赤十字社愛知県支部は知多市と地域活性化包括連携協定を締結いたしました。今後、子ども・子育て支援、高齢者の健康生活支援、多文化共生の実現に向けた事業の推進や防災・減災に関することなど、市民の皆様の健康的な生活の実現や地域の活性化に繋がる連携事業の取り組みを進めていきます。



ANAグループから「しあわせの花すずらん」の贈呈

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一・名古屋第二病院を慰問

ANAグループの客室乗務員とグランドスタッフの方々が、入院患者さんに「しあわせ」の花言葉をもつすずらんの花としおりを届けてくださいました。ANAグループの社会貢献活動の一環として続くこの活動は今年で69回目を迎えます。

すずらんの切り花と香り付きのしおりを受け取った患者さんは「お花が好きなので嬉しいです。元気づけられます」「心がこもっているのを感じます」と嬉しそうな声を聞くことができました。患者さんの明るい表情にスタッフも心があたたかくなりました。ANAグループの皆さま、素敵な贈り物をありがとうございました。



名古屋第一病院



名古屋第二病院

地元スポーツチームと協働した社会貢献

日本赤十字社愛知県支部は、これまでも県内のスポーツチームと協働し、スポーツを通じた社会貢献活動に取り組んできました。今回新たに、地元のプロバレーボールチーム・ウルフドッグス名古屋から、2024年台湾東部沖地震救援金・令和6年能登半島地震災害義援金をお受取りしました。

これは、バレーボールを通じて友好関係を築いた台湾や能登半島地震の被災地の支援のため行われたチャリティーマッチやチャリティーオークションで寄せられたものです。バレーボールを通じて広がった支援の輪、私たちはこれからもスポーツを通じた社会貢献活動を推進していきます。



5月 赤十字運動月間のご報告

広めよう赤十字! 5月の愛知一斉キャンペーン

いつも地域ニーズに応える活動を実施している赤十字奉仕団。運動月間は赤十字へのご理解・ご支援を呼びかける活動を県内各地で行いました。多くの方々に赤十字の啓発活動へご協力いただきました。

ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



大府市赤十字奉仕団



田原市赤十字奉仕団

やごと日赤ふれあいひろばを開催しました!

たくさんのご来場ありがとうございました

5月19日(日)にやごと日赤ふれあいひろばを開催しました。当日は地域の皆さんをはじめ、1500人もの方にご来場いただき、大盛況のうちに終わりました。

実際の医療機器に触れたり、お医者さん体験をした来場者からは「普段できない体験ができ、とてもよかった」「医療が身近に感じられた」と感想をいただくことができました。また、今回は赤十字に関連したブースも多く出展し、国内救護や国際救援、献血、看護大学など赤十字の活動について知っていただくよい機会となりました。

これからも地域の皆さんに寄り添った病院を目指していきます。



子どもたちの笑顔のために

様々な事情により児童生徒の健康診断が実施されない外国入国学校があります。昨年引き続き、豊橋市にある学校法人倉橋学園伯人学校イーエース豊橋にて健康診断実施を支援する事業を行いました。5月16日(木)、株式会社八神製作所の協力のもと身体測定を実施。初めて触れる測定器や問診票、列に並ぶ緊張した顔や測定後のほころんだ顔、生徒たちの様々な表情があふれる時間でした。また、6月13日(木)には日本赤十字社愛知医療センター・名古屋第一病院、名古屋第二病院の4名の医師が、日本語やポルトガル語で生徒とコミュニケーションを取りながら内科検診を行いました。



自分のルーツを強みに

5月28日(火)、豊橋市の学校法人カンティニーニョ学園でブラジル人生徒を対象としたポルトガル語での赤十字救急法講習を実施しました。講習指導を担当した杉尾美恵子さんはブラジル出身で、外国にルーツのある全国初のボランティア指導員として活躍しています。講習受講前、参加した生徒約50名の中で「119番」を知っていたのは8名ほどでしたが、受講後の「救急車を呼ぶときは？」の質問に「119番!」と多くの生徒から声が上がっていました。杉尾指導員は「分からないことがあれば声に出して周りの友だちや指導員に確認するみなさんの積極的な姿勢をみて、とても一生懸命取り組んでいることを実感しました。今回のような母国語での講習機会も増やしていけたらと思います」と、これからの講習への思いを話してくれました。

赤十字の講習が誰かの助けになるかもしれない知識を学ぶだけでなく、杉尾指導員のように言葉の壁を越えてチャレンジしてみようと思えるきっかけになれば——そんな機会を増やせるような事業を続けていきます。



受講生を代表して杉尾指導員にお礼と感想を伝える生徒



CLOSEUP
誰もが安心して夢を抱ける社会を目指して
多文化共生社会の実現に向けた愛知県支部の取り組み

約340万人、これは今日日本で暮らす外国人住民の数です。その中の約29万人が愛知県で生活を送っています。言葉や習慣、文化の違いに関わらず「知る」「経験すること」は誰もが持つ大切な機会です。今回は、そうした視点も大切に愛知県支部の多文化共生社会実現に向けた取り組みをご紹介します。



杉尾美恵子指導員
全国初の外国にルーツのあるボランティア指導員

